



赤中祭 「地域ふれあい体験講座」

十一月十一日(金)、赤中祭が開催され、そこで『地域ふれあい体験講座』の一つとして「民話の語り部講座」が行われました。

講師として民話会ゆうづるより白岩けい子会長、高橋弘美さんが参加しました。

一年生から三年生までの男子生徒六名、女子生徒五名が受講。最初に自己紹介が行われ、続いて講師による民話の語りが披露されました。

次に班を編成し、班ごとに語りの練習が行われました。



班ごとに分かれて練習中。熱心に取り組んでいました。

その後、各自で選んだ作務衣を身に付けてリハーサルを行い、いよいよ体育館での発表となりました。
一班は『しっぽのつり』、二班は『十二支ばなし』、三班は『クモとハチ』をそれぞれ発表。皆さん練習の成果を発揮し、声も大きく大変上手な語りを披露して下さいました。

夕鶴の里資料館報

令和4年12月10日
第144号
発行 夕鶴の里
TEL 47-5800

夕鶴の里友の会 会員交流会開催!

十一月十三日(日)、夕鶴の里友の会会員交流会が行われました。

コロナ禍で令和二、三年度は開催が中止となった為、今回初めての開催となり、二十五名が参加しました。

最初に、元夕鶴の里友の会会員の笈掛昇様をゲストに迎え、琵琶演奏による『耳なし芳一』を披露していただきました。普段あまり耳にする機会のない琵琶の音色と語りに、皆さん熱心に耳を傾けていました。

次に、今年度新規会員の紹介と語りの披露が行われました。皆さん素晴らしい語りで、終了ごとに会場から大きな拍手が送られました。
続いて参加者による紙芝居リレーを行い、最後は全員で『鶴の恩返しドンパン節』を歌って終了となりました。

午前中のみで開催で短時間ではありましたが、参加者の皆さんは和気あいあいとした楽しいひと時を過ごした様子でした。



『鶴の恩返しドンパン節』



参加者による紙芝居リレー



笈掛昇様による琵琶演奏
『耳なし芳一』

ソロフチノフスト南陽様より

民話会ゆうづるに
クラフ賞が贈られました！

十一月十七日(木)、「民話会ゆうづる」が地域貢献活動に功績があったとして、国際ソロフチノフスト南陽様より「クラブ賞」が贈られました。夕鶴の里語り部ホールで贈呈式が行われ、その後、白岩けい子会長、松橋信子副会長、大竹和子副会長による民話の語りが披露されました。



贈呈式の様子



山形大学フィールドプロジェクト
「民話語り部体験講座」
閉講式が行われました

十一月二十六日(土)、山形大学フィールドプロジェクト「民話語り部体験講座」が終了し、閉講式が行われました。

山形大学の学生十四名が参加。十月から全四回の日程で、語り部体験の他、南陽市民話ゆかりの地めぐり、そば打ち体験、機織り体験等を行いました。

最終日の閉講式では語りの発表が行われ、練習の成果を発揮し、皆さん素晴らしい語りを披露されました。

11月12日
(3日目)
そば打ち体験



11月26日
(4日目)
機織り体験

11月26日
(4日目)
語りの発表



語りの発表後、講師の先生と一緒に全員で記念撮影。

夕鶴の里
昔のあそび

十一月十九日(土)、「昔のあそび」が行われました。今回は『押し花カレンダーを作ろう!』でした。参加者は十四名。皆さん個性豊かな発想で取り組み、素敵なカレンダーが完成しました。



素敵なカレンダーが完成！



第十回
南陽こども芸術祭

十一月二十七日(日)午後一時より、シエルターなんようホールにて「第十回南陽こども芸術祭」が開催されました。夕鶴の里では、語りを学んだ子ども達が「夕鶴つ子の会」を結成し、漆山小学校四年生から五名が参加しました。本番では皆さん練習の成果を発揮し、素晴らしい民話の語りを披露しました。

- 「クモとハチ」 高橋音望さん
- 「牛蒡と人参と大根」 小笠原優那さん
- 「おぶさろの化け物」 高橋咲翔さん
- 「百足の医者むかえ」 多勢未来さん
- 「クモとハチ」 棚村涼太さん

ご来場頂いた皆様、どうもありがとうございました。



年末年始休館のお知らせ

十二月二十九日(木)～
一月三日(火)まで
休館になります。